

工場見学に来ていただきました！

—高松市立香西小学校 第4学年の皆様—

発行 No.14058

2019年12月7日



11月1日（金）、香西小学校 第4学年 81名の皆さんが国分寺工場に見学に来ていただきました。

工場を見学する前に、“工場内のくさいニオイの原因は工場のどこかに隠れているので探しながら見学してみてください”とお伝えしました。果たして、ニオイの原因は何なのでしょう？

見学ではビン・ペットボトルを人の手によって選別する様子や、選別後のスチール缶が機械によって圧縮されサイコロ状の大きな塊となって出てくる様子などを見ていただきました。その塊が約3000本ものスチール缶が圧縮されたものだと知ると、驚きの声が上がっていました。

見学後には、「選別した後に大変なことは何ですか？」や「缶・ビン・ペットボトル以外のゴミはどうするのですか？」など、非常に鋭い質問をたくさんいただきました。香西小学校の皆さん、ありがとうございました。

選別後に大変なことは資源に混ざっていたゴミの処理です。

これらのゴミは焼却・埋立処分されます。

冒頭に出てきたニオイの原因はこの質問の答えに関連しているのですが、皆さん分かりますか？

それは、缶・ビン・ペットボトルの中の飲み残し、容器・包装プラスチックに付着した食べ残しや汚れです。これらが腐り、強烈なニオイを放っているのだと考えられます。

見学中にタイミング良く回収から戻ってきたトラックの荷物にも中身がほとんど残ったままのペットボトルが入っていました。

飲み残し・食べ残しをそのままの状態に出した資源には、リサイクルする過程で余計な手間が掛かったり、時間が経ちすぎて汚れが取りきれなかったりと、リサイクルするのが難しくなります。

資源には限りがあります。

“中身が残ったまま”、“汚れがついたまま”出し続けたら、いつか底をついてしまうでしょう。

リサイクルに出す際は、

- 缶・ビン・ペットボトルの中身を空にし、軽く水ですすぎましょう。
- 容器・包装プラスチックに付着した汚れは拭き取ったり水ですすいだりして綺麗にしましょう。
- 決められた収集日・時間内に決められたものを出しましょう。

ご協力よろしくお願ひします。

